

平成 24 年 度

事 業 報 告 書

平成 25 年 3 月

公益財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

目次

I. 管理部門	P. 1
II. 公益目的事業	P. 10
III. 収益事業	P. 48

特記事項

I. 管理部門（本部・総務部）

[1] 官庁（内閣府）関係

- (1) 平成24年4月 定款及び役員報酬並びに費用等に関する規程の変更の届出を行った。
- (2) 平成24年6月 平成23年度事業報告書並びに決算報告書等を提出した。
- (3) " 公益認定法で要請されている事業計画書、事業報告書等を提出した。
- (4) 平成25年3月 平成25年度事業計画書並びに予算書等を提出した。

[2] 諸規程の整備

従業員就業規則、給与規程、育児・介護休業規程、徳川黎明会規程の改訂並びに整備を行った。

[3] 登記

理事改選に伴い法務局で登記を行った。

[4] 監査

2名の監事により、平成25年5月23日に平成24年度の決算監査が実施されその結果適法正確と認められた。

また税理士による毎月の月次監査を実施した。

[5] 組織再編

美術館における組織の再編を実施した。

[6] 建物等工事

本部建物の空調及び給湯設備更新工事をリース契約を締結して実施した。

[7] 理事会・評議員会開催

1. 理 事 会

第1回理事会

○開 催 平成24年6月1日 午前10時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成23年度事業報告並びに計算書類等の承認の件

第2号議案 平成23年度監査報告の件

第3号議案 平成24年度役員報酬額決定の件

第4号議案 規程改訂の件

第5号議案 相談役選任の件

第6号議案 評議員会招集の件

○結 果

第1号議案・第2号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果、一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。

第3号議案

本年度5月までの役員報酬を職員の給与改訂にあわせて6月で改訂したい。6月より専務理事は職員の昇給率を適用し、常務理事は据え置きとしたいとの提議があり、利害関係を有する専務理事・常務理事の議決権を有しない2名を除いて審議の結果、一同異議なく、承認可決された。

第4号議案

席上配布の資料に基づき審議の結果、一同異議なく、承認可決された。

第5号議案

理事の任期満了に伴い、中田易直理事が退任し、退任後の6月20日付をもって相談役に選任したい。任期は24年6月20日から26年6月19日までの2年間であるとの提議があり、審議の結果、一同異議なく、承認可決された。

第6号議案

公益財団移行後における評議員会は理事会の決議をもって召集されることになっているため、本日の理事会の承認をもって、来る6月19日午前10時半から評議員会を開催したいとの提議があり、一同異議なく、承認可決された。

第2回理事会（書面による決議）

定款39条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の規定により次の通り書面による審議がなされ、理事会の決議があったものとみなされた。

その1

- 議 案 代表理事、業務執行理事（専務理事、常務理事）を選任するための理事会を
書面にて決議をとること
- 結 果 理事、監事全員が同意書を提出し、書面にて決議をとることが承認された。

その2

- 議 案 代表理事、業務執行理事（専務理事、常務理事）選任の件

代表理事（会長） 徳川義崇
業務執行理事（専務理事） 近松真知子
業務執行理事（常務理事） 竹内 誠

- 説明・結果

上記3名は6月19日に開催される評議員会において理事に選任されることを条件として就任を承諾した。

理事間で書面による決議を行い、理事・監事全員の承認を得た。

- 理事会の決議があったものとみなされた日 平成24年6月19日

第3回理事会（書面による決議）

定款第39条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の規定により次の通り書面による審議がなされ、決議があったものとみなされた。

○議 案

第1号議案 寄贈作品受け入れの件

第2号議案 評議員会提議の件

○説明・結果

作品9件を坂田宏氏・太田美知子氏の共有名義で寄贈を受け、基本財産（受贈美術品）に組み入れること、及び第1号議案の決議後評議員会に提議し、同様に書面審議を実施することにつき理事間で書面による決議を行い、理事・監事全員の承認を得た。

○理事会の決議があったものとみなされた日 平成24年11月22日

第4回理事会

○開 催 平成25年3月25日 午後2時 当会に於いて

○議 案

第1号議案 平成25年度事業計画書の件

第2号議案 平成25年度予算書等の件

第3号議案 任期満了に伴う相談役選任の件

○結 果

第1号・第2号議案

審議の結果一同異議なく、両議案とも原案の通り承認可決された。

第3号議案

相談役の任期満了に伴い、25年4月1日付、2年任期で引き続き竹内順一・竹田憲央両氏を選任したいとの提議があり、審議の結果、一同異議なく、承認可決された。

2. 評 議 員 会

第1回評議員会

○開 催 平成24年6月19日 午前10時30分 当会に於いて

○議 案

第1号議案 議事録署名人選定の件

第2号議案 平成23年度事業報告並びに計算書類等の承認の件

第3号議案 任期満了に伴う理事の選任の件

○結 果

第1号議案

議事録署名人については、室瀬和美氏選定の提議があり、その可否について
諮ったところ出席者一同異議なく、承認可決された。

室瀬和美氏からは、お受けするとの発言があった。

第2号議案

審議の結果一同異議なく、原案の通り承認可決された。

第3号議案

今回平成22年5月30日付け就任の理事が改選となる。そのうち中田易直理事
は任期満了をもって退任となり、先の理事会で6月20日付けで相談役に選任
された。これをふまえ理事の選任が実施され、以下の通り可決された。

公益財団法人 徳川黎明会 理事 (3名以上9名以内)

〔退任〕 中田易直

〔重任〕 徳川義崇 近松真知子 竹内 誠 池田弘一

徳川斉正 前田利祐

〔新任〕 小林 忠

計7名

平成24年6月19日就任

第2回評議員会 (書面による決議)

定款第22条の規定、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定により次の
通り書面による審議がなされ、評議員会の決議があったものとみなされた。

○議 案 寄贈作品受け入れの件

○内容・説明

作品9件を坂田宏氏・太田美知子氏の共有名義で寄贈を受け、基本財産（受贈美術品）に組み入れることにつき評議員間で書面による決議を行い、評議員全員の承認を得た。

○評議員会の決議があったものとみなされた日

平成24年12月3日

[8] 文部科学省への届出・報告事項

1. 平成24年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書を提出した。平成24年4月
2. 平成23年度科学研究費補助金（特定奨励費）実績報告書を提出した。平成24年5月

[9] 役員及び評議員、職員 (平成25年3月31日現在)

1. 役員

理事 計 7名

役名	氏名	職業
会長	徳川 義崇	八雲産業(株)社長、徳川美術館 館長
専務理事	近松真知子	(公財) 徳川黎明会 総務部長
常務理事	竹内 誠	東京学芸大学名誉教授、徳川林政史研究所 所長
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
〃	小林 忠	学習院大学名誉教授
〃	徳川 斉正	(公財) 徳川ミュージアム理事長
〃	前田 利祐	(公財) 前田育徳会 代表理事

監事 計 2名

役名	氏名	職業
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所長
〃	松平 頼武	(学) 本郷学園 理事長

評議員 計 7名

役名	氏名	職業
評議員	太田 宏次	(公財) 東洋医学研究財団 理事長
〃	小林 喬	富国生命保険(相) 相談役
〃	田中 秀隆	(公財) 三徳庵 専務理事
〃	濱本 英輔	(株) ロッテ 顧問
〃	原 俊夫	(公財) アルカンシエール美術財団 理事長
〃	松方 冬子	東京大学史料編纂所 准教授
〃	室瀬 和美	(株) 目白漆芸文化財研究所 代表取締役

役員総計 16名

他に相談役3名(竹内順一、竹田憲央、中田易直)となっている。

2. 職員

総務部 計 3名 (他に非常勤学芸員 2名)

職 名	職 階	氏 名
兼 部 長	専務理事	近松真知子
課 長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子
課 長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之

徳川美術館 計17名 (他に非常勤研究員 7名 (うち1名 評議員兼任)、非常勤学芸員 1名)

職 名	職 階	氏 名	
兼 館 長	会 長	徳川 義崇	
副 館 長	参事補	四辻 秀紀	
学 芸 部	兼 部 長	参事補	四辻 秀紀
	課 長 (学芸担当)	主事補	原 史彦
		書 記	下畑いつこ
		〃	並木 昌史
		〃	薄田 大輔
		〃	加藤 祥平
企 画 情 報 部	部 長	主 事	小池 富雄
	課 長 (教育・普及担当)	主事補	加藤 啓子
	主任学芸員	主事補	吉川 美穂
		書 記	坪井 美幸
業 務 部	部 長	主 事	林 繁俊
	課 長 (管理担当)	主事補	野村 弘和
	課 長 (庶務担当)	〃	長谷 峰生
	係 長	書 記	長沼 英樹
		〃	大田 智恵
		〃	遠山 洋

徳川林政史研究所 計 6名 (他に特任研究員15名、非常勤研究員14名、非常勤研究生9名)

職 名	職 階	氏 名
兼 所 長	常務理事	竹内 誠
副 所 長	嘱 託	深井 雅海
係 長	書 記	鶴岡 香織
研 究 員	書 記	白根 孝胤
〃	嘱 託	藤田 英昭
〃	〃	芳賀 和樹

職員総計 26名(うち3名役員兼任)

※他に 非常勤学芸員 3名、特任研究員 15名、 非常勤研究員 21名(うち1名 評議員兼任)、 非常勤研究生 9名、また、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱しており、この人員は美術館 3名・林政史研究所 6名となっている。

Ⅱ. 公益目的事業

〔公 1〕

美術館の運営事業(徳川美術館)

〔1〕 調査・研究

1. 研究

課 題 (開始年)	担 当
(1)館蔵品悉皆調査 (昭和63年)	学 芸 部 共 同
(2)尾張徳川家関係寺社蔵品調査 (昭和58年)	
(3)徳川美術館蔵仏画の調査研究 (昭和49年)	名 誉 副 館 長 山 本 泰 一
(4)請来仏画の研究 (昭和56年)	
(5)古代・中世の料紙装飾の系譜 (昭和60年)	副 館 長 ・ 学 芸 部 長 四 辻 秀 紀
(6)歌絵・物語絵の研究 (平成3年)	
(7)近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－ (昭和57年)	企 画 情 報 部 長 ・ 学 芸 員 小 池 富 雄
(8)幸阿弥派蒔絵の研究 (平成元年)	
(9)徳川将軍家と尾張家の研究 (平成19年)	学 芸 部 課 長 ・ 学 芸 員 原 史 彦
(10)篠・長久手合戦の研究 (平成20年)	
(11)近世絵画の研究 (平成6年)	企 画 情 報 部 主 任 学 芸 員 吉 川 美 穂
(12)尾張を中心とする画家の活動について (平成11年)	

課 題 (開始年)	担 当
(13)尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について (平成8年)	学芸員 並木昌史
(14)有職装束の研究 (平成8年)	
(15)松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究 (平成21年)	
(16)尾張徳川家伝来中国絵画の研究 (平成23年)	学芸員 志賀太郎
(17)禅宗美術の研究 (平成23年)	
(18)近世絵画の研究 (平成24年)	学芸員 薄田大輔
(19)江戸初期絵画研究 (平成24年)	学芸員 加藤祥平

2. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) による研究

若手研究 (B)

交付機関 独立行政法人日本学術振興会
 研究課題名 中世前期の日本により蒐集された南宋禅宗墨蹟の姿と機能
 研究代表名 志賀太郎

〔2〕文化財保存

1. 修理

基本美術品

重要文化財 本多平八郎姿絵屏風	二曲一隻
国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面 (蓬生 詞3・4・絵、柏木(一)詞1・2・絵、橋姫 絵、宿木(一) 詞1・2・絵、宿木(三) 絵、)	

(以上2件は国宝重要文化財等保存整備費補助金(国庫補助事業)による修理)

普通美術品

中殿御会図 伝藤原為氏筆(継統)	一卷
士林浜廻 卷35・68・100 (〃)	三冊
(以上2件は第4回徳川美術館拡充整備基金による修理)	
紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着	一領
雲龍・雪梅・風竹図 狩野山雪筆	三幅対

(以上2件は活動支援基金による修理)

2. 購入

普通美術品

藤裏葉図 板谷広長筆	一幅
二大字「好禮」 徳川慶勝筆	一幅

3. 寄贈

受贈美術品

古裂貼込帖「天壽華」	一帖	坂田宏氏・太田美知子氏
古筆手鑑	一帖	〃
奥の細道図巻 与謝蕪村筆	二巻	〃
溪山幽居図 伝渡邊崋山筆	一幅	〃
飲中八仙図 谷文晁筆	一卷	〃
飲中八仙図 谷文晁筆	一卷	〃

山水図 伝黙庵筆	二幅	〃
仕女図巻 立原翠軒賛	一卷	〃
唐人物図屏風 谷文晁筆	二曲一双	〃

普通美術品

御殿雛	一式	志村正氏・恵子氏
-----	----	----------

4. 収蔵品の撮影

館内

- (1) 巡回展「大名文化の華」展関係
- (2) 「徳川将軍の御成」展関係
- (3) 「眼で愉しむ源氏と平家の物語」展・「日本の神様大集合」展関係
- (4) 特別展「漆の美一彫漆・螺鈿・蒔絵一」展関係

〔3〕教育・普及

1. 定期研究発表会

	(内 容)	(年月日)	(講 師)
第61回	江戸時代大名の服装規定に関する一考察	24. 7. 7	並木昌史
第62回	建中寺蔵板谷慶舟筆「釈迦三尊・五百羅漢」製作事情 徳川宗睦とのかかわりを中心に	25. 3. 9	吉川美穂

2. 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
名古屋商人としての岡谷家 徳川将軍の御成	24. 4. 14 10. 13	愛知学院大学名誉教授 林董一氏 徳川記念財団理事長 徳川恒孝氏

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
尾崎久弥氏とそのコレクション	24. 4. 28	桐原千文
岡谷家伝来の古筆	5. 12	四辻秀紀
印籠と・笥	6. 9	小池富雄
江戸絵画を愉しむ	8. 4	吉川美穂
大名家の織物コレクション	9. 15	並木昌史

式正の御成から御通抜	10. 6	原 史彦
絵で読む『平家物語』	12. 1	龍澤 彩
尾張徳川家の鷹狩	25. 1. 12	山本泰一
芭蕉から利休へ	2. 16	大日本茶道学会副会長 田中仙堂
徳川美術館所蔵 正保国絵図を読む	3. 16	名古屋市蓬左文庫学芸員 種田祐司

4. 夏期講座「近世宮廷の美と伝統」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
徳川将軍の御成・総論	24. 8. 21	参与 佐藤豊三
御成と大名庭園	〃	原 史彦
尾張徳川家の御成御殿	8. 22	東京大学埋蔵文化財調査室助教 成瀬晃司氏
考古資料から見た将軍御成	〃	徳川林政史研究所非常勤研究員 渋谷葉子氏
見学会（養浩館庭園・一乗谷朝倉氏遺跡庭園・大安禅寺）	8. 23	

5. 能楽講座「尾張徳川家の能『百萬』」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
子どもとの別れと出会い。その表現の色々	24. 4. 7	シテ方宝生流 辰巳満次郎氏
物狂いの音とは。 百萬・法楽之舞	5. 19	シテ方観世流 観世喜正氏 笛方藤田流家元 藤田六郎兵衛氏
能の劇中での狂言の演技、色々	6. 16	狂言方和泉流 井上靖浩氏
百萬の舞を見給へ	7. 14	歌人 馬場あき子氏

6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	
徳川家康の遺訓	24. 6. 9	竹内 誠
二代将軍秀忠の人物像	6. 16	藤田英昭
森林からみた17世紀	6. 23	芳賀和樹
「寛永小説」に見る三代将軍家光	6. 30	深井雅海
徳川御三家の創出と将軍家(一)	7. 7	白根孝胤
〃 (二)	7. 14	白根孝胤

7. 古美術相談会

7回開催8件。この他に写真の郵送、来館などにより計18件の古美術相談を行った。

8. 体験講座 ―日本の伝統文化にふれる―

聞香	団体	28件 計640名
貝あわせ	団体のみ	11件 計350名

9. 名曲講座

	(内 容)	(年月日)	(入場者)
(1)	ミハイル・リツキー ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	24. 9. 22	100名

10. 特別企画

(1) 端午の節供 特別企画 親と子の甲冑教室2012 のべ来場者 500名 (24. 5. 5)

(2) 夜間開館イベント ロビーコンサート「今宵は、夏音の調べにのせて・・・」 (8. 10)

(3) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画

①目で見える雛まつり 十二単着装公開(2回) 来場者約900名 (25. 3. 2)

②オリジナル 香袋・文香をつくる (25. 3. 10)

③尾張徳川家の雛まつりを楽しむ 計52名参加 (25. 2. 26、3. 8、3. 23)

11. 夏期夜間延長開館 24. 8. 10～12)

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

12. 賛助会・友の会見学会

第47回 葵祭と京都国立博物館 (24. 5. 15)

第48回 春日大社と奈良国立博物館「正倉院展」 (10. 31)

13. 学芸員実習 9名 (24. 8. 4～ 8. 11)

14. 特別観覧

24年度は以下の通り計22件の特別観覧申請に応じた。

24年4月 (1) 高円宮妃久子殿下

(2) 東京文化財研究所 北野信彦氏2名 ほか

5月 (3) 画賛研究会 島尾新氏 ほか25名

7月 (4) 京都国立博物館 山下善也氏

(5) フリアーサックラーギャラリー ルイーズ・アリソン・コート氏

(6) 根津美術館 松原 茂氏

8月 (7) 台湾大学 黄 立芸氏

(8) 京都国立博物館 尾野善裕 氏

(9) 岡墨光堂 岡 泰央氏、広瀬賢治氏

(10) 筑波大学 下村奈穂子氏、根津美術館 西田宏子氏

(11) 東京藝術大学 横溝廣子氏 ほか2名

- 9月 (12) ハイデルベルグ大学院 ベアトリス・ヘーラ氏
 (13) キオソーネ美術館 ドナテルラ・ファイラ氏
- 10月 (14) バード グラデュエイトセンター 陸 鵬亮氏
- 11月 (15) 竹工芸家 池田瓢阿氏
 (16) 韓国美術史研究所 文明大氏
 (17) 東京藝術大学 福島雅子氏
- 25年1月 (18) 太田孝彦氏・吉富真知子氏
 (19) 三重県史編さんグループ 筒井正明氏
- 3月 (20) 五島美術館 福島 修氏
 (21) 沖縄県立博物館 園原 謙氏
 (22) 香川県立ミュージアム 御厨義道氏

15. 出講の承認

(1) 大学等の非常勤講師としての出講

四辻秀紀	①南山大学	前期
	②愛知淑徳大学	後期
	③中京大学	秋学期集中
小池富雄	①名古屋外語大学	前期
	②南山大学	後期
原 史彦	①名古屋芸術大学	通年
吉川美穂	①同朋大学	前期
	②名古屋芸術大学	後期集中
	③椋山女学園大学	集中

(2) その他の出講

四辻秀紀	①栄中日文化センター	通年
	②安城学園高等学校	25. 2. 26
小池富雄	①名古屋市東生涯学習センター	6. 7
	②小牧市北里市民センター	7. 5

原 史彦	①栄中日文化センター	通年
	②JTBコーポレートソリューションズ	24. 4. 13
	③小牧市北里市民センター	5. 10、5. 24
	④名古屋市東生涯学習センター	6. 28
	⑤岡崎市美術博物館	7. 14
	⑥小学館集英社プロダクション江戸楽アカデミー	10. 11、25. 2. 17
	⑦東海市立文化センター	11. 24、12. 1

吉川美穂	①名古屋市東生涯学習センター	5. 22
	②小牧市北里市民センター	6. 7
	③NHK文化センター	9月～25. 3月
	④東海市立文化センター	11. 17

並木昌史	①栄中日文化センター	通年
	②皇學館大学 学外講師	5. 26
	③名古屋市東生涯学習センター	7. 12、25. 2. 22
	④小牧市北里市民センター	6. 21、7. 25

16. 職員の委嘱

山本泰一

①学校法人 名古屋電気学園	100周年資料収集	23. 4. 19～25. 12. 3
---------------	-----------	---------------------

四辻秀紀

①財団法人 芭蕉翁顕彰会	参与	21. 3. 23～調査終了時
②愛知県県史編さん委員会	(典籍班)	24. 4. 1～調査終了時

小池富雄

①愛知県件史編さん委員会	文化財部会	24. 4. 1～25. 3. 31
②名古屋市東生涯学習センター	協議会委員	7. 20～ //
③知立市文化財調査委員		7. 1～ //
④文化庁文化財審議会		25. 3. 19～ //

原 史彦

①愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (近世史) 24. 5. 1～調査終了時

②東京大学史料編纂所特定共同研究員 24. 4. 1～25. 3. 31

吉川美穂

①愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (近世絵画史) 19. 4. 1～調査終了時

加藤啓子

①文化庁 平成24年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員
24. 5. 25～25. 3. 15

1 7. 館長講演活動

館長 徳川 義崇

(主催)

(演 題)

- | | | |
|-------------------|--------------------------------|-----------|
| (1) 学習院草上会 | 「文化を守る－尾張徳川家第19代徳川義親の足跡をたどって－」 | 24. 5. 19 |
| (2) 名古屋専門店協会 | 「文化を守る」 | 5. 23 |
| (3) 日立ITユーザ会 | 「文化を守る」 | 5. 24 |
| (4) ITC日本リージョン | 「文化を守る－今に伝える尾張徳川家の文化」 | 6. 25 |
| (5) 名古屋港湾運送事業協同組合 | 「文化を守る」 | 10. 5 |
| (6) 大西会 | 「文化を守る」 | 10. 18 |
| (7) 中部不動産協会 | 「文化を守る」 | 11. 19 |
| (8) 有限責任監査法人トーマツ | 「文化を守る」 | 11. 20 |
| (9) 装道礼法きもの学院 | 「文化を守る」 | 25. 3. 20 |

18. 雑誌・報道広報資料作成

(1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター作成

①企画展プレスレビュー

豪商のたしなみ-岡谷コレクション-、器といれもの-大名道具の用と美-、
江戸絵画ふしぎ探検、世界のテキスタイル、徳川将軍の御成、
眼で愉しむ源氏と平家の物語、日本の神様大集合、尾張徳川家の雛まつり

②記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

③名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、新春プレゼント掲載依頼

④親と子の甲冑教室、十二単着装公開、夏休み子ども特別企画参加者募集、新館開館25周年・
徳川園80周年記念企画、香袋づくり教室、ひな御膳 掲載依頼

⑤土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、新館開館25周年・
徳川園80周年記念企画、十二単着装公開 取材依頼

⑥特別公開「国宝 源氏物語絵巻」・「泪の茶杓」

19. ホームページ・フェイスブックの随時更新

20. 生徒・学生への教育普及活動・館外出張講座

(1) 土曜子ども教室

24. 4. 7～25. 3. 30 46日実施 子ども 868名・大人404名 合計1,272名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、常設展展示室での展示解説。

(2) 夏休み「文化のみち」子ども教室「江戸の絵画」

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布	500枚
「江戸の絵画」 ギャラリー・クイズ 8. 1～9. 2	839名
小中学生の歴史教室「江戸の絵画」	〃 852名
歴史文化体験「遊んで作ろう貝あわせ」	〃 510名

(3) 体験学習受け入れ・出張教室

<受け入れ>

名古屋外国語大学留学生30名、実践女子学園中等部修学旅行280名、トラゼントスクール留学生26名、六合小学校6年36名、蓬萊東小学校6年生6名、清水小学校6年生46名、津島小学校6年生50名、大山田小学校6年90名・葵小学校5年33名ほかが見あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内を見学した。

そのほか分散学習や質問に対応、のべ50団体。

<出張教室>

5月10日猪高中学校2年、9月12日瀬戸市祖母懐小学校に出張教室を実施。

2 1. 中学・高校・大学 職場体験・訪問の受け入れ

職場体験として中学生2校7人、職場訪問として5校44人を受け入れた。

2 2. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 24. 7. 31

中学校の部7名、小学校の部8名の参加があった。

2 3. 他施設との協力事業

(1) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんの音楽教室」

24. 5. 27、6. 17

(2) 一宮市博物館 「体験！自由研究の"タネ"」協力

8. 18

(3) 名古屋城「本丸御殿復元」イベントに協力

11. 3

名古屋城から割り当てられたブースで、来場者対象に兜・火縄銃体験を行った。

(4) 名古屋港「文化祭」イベントに協力

25. 3. 28

名古屋城から割り当てられたブースで、来場者対象に兜・火縄銃体験、見あわせ、聞香などを行った。

24. 学会活動

私立美術館会議事務局（平成3年より）

第22回 私立美術館会議 24. 6. 15開催 於 根津美術館

大名道具収蔵館研究会（平成4年より）

第19回 研究会 24. 11. 5開催 於 彦根城博物館

25. 平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（事業提携）

夏休み「文化のみち」子ども教室・東区ガイド・ボランティア報告会(24. 10. 16)に参加

*補助金・助成金等の交付なし

26. 第91回名古屋市文化史教室（事業提携）

夏休み「文化のみち」子ども教室を名古屋市と共催した。

*補助金・助成金等の交付なし

27. 新館開館25周年・徳川園80周年記念企画

徳川さんと河村さんが語る徳川園の歴史と思い出 於 名古屋能楽堂 24. 10. 27

徳川園の思い出 於 蓬左文庫エントランスホール 10月中旬～12月中旬

〔4〕展覧会

1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替		
	常設展示入場者数(企画展示期間を除く)		9,604人
(2)特別公開	国宝源氏物語絵巻 柏木二・早蕨	24. 11. 17 ~ 11. 25	第5室
(3)特別公開	千利休 泪の茶杓	25. 2. 23 ~ 3. 3	第2室

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展 豪商のたしなみ -岡谷コレクション- (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	24. 4. 14 ~ 5. 27	28,254人
(2)企画展示 器といれもの -大名道具の用と美- (日本経済新聞社共催)	6. 2 ~ 7. 22	22,381人
(3)企画展示 江戸絵画ふしぎ探検 (朝日新聞社共催)	7. 28 ~ 9. 2	17,763人
(4)企画展示 世界のテキスタイル -大名家の織物コレクション-	9. 8 ~ 9. 30	10,999人
(5)新館開館25周年・徳川園80周年記念秋季特別展 徳川将軍の御成 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	10. 6 ~ 11. 11	25,308人
(6)企画展示 目で愉しむ 源氏と平家の物語 (朝日新聞社・NHK名古屋放送局共催)	11. 17 ~ 12. 13	18,252人
(7)企画展示 日本の神様大集合 -徳川美術館へ初詣- (日本経済新聞社共催)	25. 1. 4 ~ 2. 3	12,709人
(8)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 9 ~ 4. 7	47,777人
	企画展示入場者数合計	183,443人
	平成24年度総入場者数	193,047人

(9)特別観覧

	(会 期)	(入場者)
①名香鑑賞会	24. 4. 21、22 (2日間)	501人
②徳川茶会	24. 10. 7~11. 3(8日間)	2,646人

(10) 蓬左文庫展示室

展示室 1・2	春季特別展 江戸の粋-尾崎久弥コレクション- (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	24. 4. 14～ 5. 27
展示室 1・2	尾張徳川家大曾根邸と徳川園	6. 2～ 7. 22
展示室 1・2	戦国の合戦	7. 25～ 9. 30
展示室 1・2	秋季特別展 徳川将軍の御成 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	10. 6～11. 11
展示室 1・2	尾張藩の学問と教育	11. 17～12. 13
展示室 1 2	大名と鷹狩 一富士・二鷹・三茄子- 名古屋城下図	25. 1. 4～ 2. 11
展示室 1 2	ひなの世界・源氏物語の世界 国絵図	2. 14～ 4. 7

(11) 巡回展

「徳川美術館展-大名文化の華・尾張徳川家の至宝-」

富山県水墨美術館 24. 6. 15～ 7. 29

サンリツ服部美術館 8. 4～ 9. 17

「尾張徳川家の至宝」

江戸東京博物館 25. 1. 2～ 2. 24

3. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

(出陳先)	(展覧会名称)	(期 間)	(出陳品)
広島県立美術館	平清盛	24. 4. 21～6. 3	天皇撰関御影 等計3点
一宮市博物館	馬と人々の暮らし	6. 16～7. 29	銅製鍍金雲珠
京都府 京都文化博物館	平清盛	6. 16～7. 17	西行物語絵巻 (海田采女佑本) 卷冬
岡崎市美術博物館	譜代大名本多家	7. 7～ 8. 19	長篠・長久手合戦図屏風 等 計3点
熊本県立美術館	生誕450年記念加藤清正展	7. 20～9. 2	豊臣秀吉朱印状等計6点
東京都江戸東京 博物館	二条城展－華麗なる狩野派と 徳川家ゆかりの名宝－	7. 28～9. 23	二条行幸図二卷等計6点
出光美術館	東洋の白いやきもの －純なる世界－	8. 4～10. 21	白天目 等 計 3 点
福岡市博物館	能のかたち	9. 15～11. 11	能面「笑尉」等計4点
岐阜市歴史博物館	織田信長と美濃・尾張	9. 13～10. 15	古瀬戸肩衝茶入銘横田 等計5点
サントリー美術館	お伽草子 －この国は物語にあふれている－	9. 19～11. 4	掃墨物語絵巻
京都国立博物館	宸翰 天皇の書 御手が織りなす至高の美	10. 13～11. 25	筑後切 等 計 5 点
龍谷ミュージアム	絵解きってなあに？	10. 13～11. 25	紺紙金字無量義経等 計 3 点
和泉市 久保惣記念美術館	美の宴	10. 14～12. 2	葉月物語絵巻 第二段・詞書等計8点
瀬津雅陶堂	雅展 元 －禅僧と文人－	10. 26～10. 31	古銅雨龍形筆架
碧南市藤井達吉 現代美術館	永井直勝とその一族	12. 4～ 1. 14	長久手合戦図屏風 (模本)
九州国立博物館	海の道、アジアの路	25. 1. 1～ 1. 27	初音蒔絵机 等 計 3 点
サントリー美術館	歌舞伎 江戸の芝居小屋展	2. 6～ 3. 31	歌舞伎図巻
愛知県美術館	円山応挙展	3. 1～ 4. 14	円山応挙筆 華洛四季遊戯図巻 下巻
野村美術館	茶人の遊び心	3. 2～ 4. 14	海老文染付香合等計5点
京都国立博物館	狩野山楽・山雪展	3. 30～ 5. 12	狩野山雪筆 雲龍・ 雪梅・風竹図 三幅対

〔5〕編 集

1. 特別展図録(部内)

(1) 秋季特別展「徳川将軍の御成」

- ・ 将軍家御成 佐藤豊三
- ・ 尾張徳川家の御成 原 史彦
- ・ 図版解説

四辻秀紀・小池富雄・原史彦・吉川美穂・志賀太郎・並木昌史・薄田大輔・加藤祥平

(2) 徳川美術館ガイドブック

2. 特別展図録(部外)

(1) 徳川美術館展 尾張徳川家の至宝

- ・ 尾張徳川家と徳川美術館 原 史彦
- ・ 図版解説

四辻秀紀・小池富雄・原史彦・吉川美穂・並木昌史・薄田大輔・加藤祥平

3. 金鯨叢書 第39輯

(1) 建中寺蔵 板谷慶舟広当筆「釈迦三尊・五百羅漢図」の製作事情

吉川美穂

-徳川宗睦との関わりを中心に-

(2) 建中寺所蔵尾張徳川家の色絵犀形香炉

大橋康二

(3) 春日大社蔵「唐子遊図貝桶」および絵貝・歌貝について

龍澤 彩

(4) 徳川家康着用麻浴衣の復元製作報告

並木昌史

4. 尾陽 (第9号)

〔6〕徳川慶勝撮影写真資料の共同調査

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究のため、徳川林政史研究所と相互の研究を深化させるべく努めた。

〔7〕 図 書

1. 図 書

『繪入太閤記』、『石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究』、『鉄心斎文庫短冊総覧 むかしをいまに』（上・下巻）などの他、『史料纂集 古記録編』、『ものと人間の文化史』などの継続により、計97冊を購入。また、『尾州家河内本 源氏物語』（第四巻・第五巻）など計527冊の寄贈を受けた。

2. 雑 誌

『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』、『文物』、『故宫學術季刊』などの定期購読のほか、計282冊を購入。また、『茶道の研究』、『美術研究』、『MUSEUM』、『茶の湯文化学』、『同仁』ほか、多数の寄贈を受けた。

〔8〕 館蔵品コンピューター入力

1. キャプション・解説カード作成・データ入力
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力

〔9〕 コンピューターシステム化の促進

文化財管理システムを更新した。

〔10〕広報活動

1. 来館者誘致活動

(1) 団体来館者の利用促進 (平成24年度実績 20,746名)

旅行会社への働きかけ(東京、近畿、北陸、東海地区の大手旅行社・バス会社への働きかけ)

(2) 個人来館者の利用促進 (平成24年度実績 172,301名)

①名古屋鉄道へのポスター・チラシによる広報宣伝協力要請

*企画展示「江戸絵画ふしぎ探検」、秋季特別展「徳川将軍の御成」、
特別展「尾張徳川家の雛まつり」

②前売券の販売促進

*24年度も百貨店友の会(4店舗)での販売を行った。また、松坂屋との取引を復活し、丸栄との新規取引を開始した。他にプレチケ、チケットぴあ、ローソンチケット、東海4県生協で販売実績をあげた。

③近隣地域・施設・組織との連携

*大曽根商店街との連携(各店舗でひな人形の展示)

*瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携

*ランの館との共通券販売

*東区閨香体験会のチラシ配布に、町内会ネットを利用した。

④地下鉄・名城線沿線施設との連携スタンプラリー実施 6/1～9/2(94日間)

⑤賛助会・友の会

平成24年度は、賛助会会員のための企画展内覧会を例年通り随時開催した。友の会については平成25年2月に現会員(平成24年度)に入会案内を送付した。

※会員状況 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

賛助会 (家族会員34組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名)

会員種類	会員数
個人会員	146件(146口)
家族会員	34件(34口)
法人会員	55件(55口)

友の会 (一般会員416名中9名が半期入会(4,200円)の会員)

会員種類	会員数	内 訳	
		新規	継続
一般会員	378件(378口)	87件	291件
情報会員	23件(23口)	2件	21件

2. 大学メンバーシップの加盟校募集活動

平成24年度は名古屋文化短期大学工業大学が新たに加盟した。平成25年3月31日現在、加盟校は以下の通りである。

愛知学院大学 愛知県立大学* 愛知工業大学* 愛知産業大学* 愛知淑徳大学
 桜花学園大学* 名古屋短期大学 金城学院大学 椋山女学園大学 中京大学*
 中部大学* 東海学園大学* 同朋大学* 名古屋大学 名古屋学院大学*
 名古屋外国語大学 名古屋芸術大学* 名古屋工業大学* 名古屋市立大学* 名古屋造形大学*
 南山大学* 名城大学 名古屋文化短期大学* 名古屋学芸大学・短期大学部*
 (計24校) *は教職員も加盟している学校

3. 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致

(1) 夏期夜間延長開館

24. 8. 10～12

4. 刊行物・印刷物の作成・配布

(1) ポスター・パンフレット作成

(徳川美術館パンフレット、土曜子ども教室 ポスター・パンフレット、夏休み子ども特別企画 ポスター)

(2) 割引券・年賀状・招待券作成

(3) 優待券作成

(4) 美術館たより「葵」の作成

第82号 4月1日発行

エッセイ「尾張徳川家と美術館」

岡谷鋼機株式会社取締役社長 岡谷篤一

第83号 7月1日発行

エッセイ「近世初期風俗画と箱庭遊び」

早稲田大学文学学術院准教授 成澤勝嗣

第84号 10月1日発行

エッセイ「『永享九年室町殿行幸御飭記』について」

千 宗屋

第85号 1月1日発行

エッセイ「元日の朝」

日光東照宮宮司 稲葉久雄

5. プレスプレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1) 豪商のたしなみ	24. 4. 13	1	1
(2) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	3	1
(3) 器といれもの	6. 1	3	3
(4) 尾張徳川家大曾根邸と徳川園	6. 2	1	0
(5) 江戸絵画ふしぎ探検	7. 27	2	3
(6) 世界のテキスタイル	9. 7	1	1
(7) 徳川将軍の御成	10. 5	4	2
(8) 新館開館25周年イベント	10. 27	3	0

(9)眼で愉しむ 源氏と平家の物語	11. 16	3	4
(10)特別公開 国宝源氏物語絵巻	11. 17	2	2
(11)日本の神様大集合	1. 4	1	1
(12)尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 8	2	7
(13)特別公開 泪の茶杓	2. 23	1	0
(14)十二単着装公開	3. 2	1	2

6. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ 小さな蕾ほか

7. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、
キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、
名鉄の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示

8. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数 325名

(2) 展示解説

①平日の解説

②土・日・祝日の展示解説

③土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習や団体学習

④申し込み団体への解説

・概要解説 89件(延べ人数 4,355名)

・体験講座(聞香・貝あわせ)ー日本の伝統文化にふれるー 39件(延べ人数 990名)

(3) 行事

懇親会 25. 3. 9 120名

(4) 研 修

①救急救命研修	24. 4. 17・18
②建中寺見学	6. 13
③名古屋市博物館見学	10. 16
④名古屋市博物館ボランティア交流	10. 30
⑤定光寺見学	11. 20

(5) 第9期の募集・養成

(6) その他の活動

①学芸部・企画情報部業務支援	1名
②特別専任ボランティア	7名
③講座等題字作成	1名
④館内生け花	1名

〔11〕管 理

1. 以下のような建物・設備の営繕工事を行った。

- 山ノ茶屋炉切り・配線工事
- 昇降機3機種修理
- 心空庵雨漏り補修
- 管理人宿舎修繕
- 高圧コンデンサー盤機器更新
- 館内照明リモコンリレー設定変更工事
- チラーユニット2号機オーバーホール
- 本館・収蔵庫耐震二次診断
- 空調自動制御機器（湿度センサー）取替
- 空調機中性能フィルター取替
- 樹木（テーダ松3本など）伐採
- コーヒーラウンジ壁面修繕

事業計画で予定していた下記事業は翌年度以降に繰り越した。

- 深夜電力専用メーター取付工事
- 廊下・バックヤード照明LED取替
- 新館床コンセント改修
- 非常用発電機蓄電池取替
- 収蔵庫空調機加湿器取替
- 時報メッセージ装置取替

2. 下記の備品を導入した。

- 業務部内コピー複合機取替
- 傘立て1台購入

〔12〕第21回徳川美術館運営懇話会

- 開催日 平成24年11月16日（金）午後2時から2時40分
- 開催場所 徳川美術館 貴賓室
- 出席委員 名古屋商工会議所会頭 高橋治朗氏、名古屋市長 河村たかし氏
名古屋鉄道(株)相談役 木村操氏、(株)三菱東京UFJ銀行 佐々和夫氏、
公益財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館館長 徳川義崇 (5名)
- 欠席委員 一般社団法人中部経済連合会会長 三田敏雄氏、愛知県知事 大村秀章氏
トヨタ自動車(株)最高顧問 豊田英二氏、中部電力(株)社長 水野明久氏 (4名)
- 議事進行 議題1 会則の改訂
第2条2行目と第3条(3)の名称変更と附則の削除を改訂した。
- 議題2 徳川美術館の運営報告
副館長が平成23年度の展覧会事業・施設管理状況等の報告を行った。
- 議題3 徳川美術館の収支報告
業務部長が平成23年度の収支状況の報告を行った。
- 議題4 運営懇話会について
館長が懇話会発足の経緯を説明し、美術館の厳しい収支状況下での支援や、委員の拡大等について要請を行った。

〔13〕徳川園調整会議、企画・業務部会への参加

下記のように開催され、職員が適宜出席した。

1. 徳川園調整会議

- 開催日時 平成25年2月15日（火）午前10時30分～12時00分
- 議 題
- ・各施設の本年度実績と来年度計画
 - ・徳川園80周年記念事業について
 - ・徳川園および徳川美術館敷地内使節の登録文化財申請について
 - ・平成23、24年度「徳川美術館・蓬左文庫・徳川園来場者アンケート」の実施状況について
 - ・文化財防火デーにおける防災訓練の実施と今後の防災対策について
 - ・平成26年（2014）徳川園・蓬左文庫リニューアルオープン10周年
 - 平成27年（2015）徳川美術館・蓬左文庫開館80周年について

2. 徳川園企画・業務部会

開催日時 平成25年1月10日（木）午後3時～4時

議 題

- ・各施設事業の実施状況
- ・来年度の事業計画の概要
- ・文化財防火デーにおける防災訓練について

〔14〕 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」

平成20年度から平成23年度にわたり、文化財関係国庫補助事業として、重要文化財に指定されている徳川家康所用の辻ヶ花染小袖五領の修理を行い、全て完了した。このうち平成23年度分として、平成24年4月26日付けで国庫より、5月28日付けで愛知県より交付を受けた。

〔対象文化財名〕 重要文化財辻ヶ花染小袖 五領のうち二領

（淡浅葱地葵紋付楓重文辻ヶ花小袖、浅葱地葵紋付扇地紙文辻ヶ花染小袖）

なお、〔2〕文化財保存 1. 修理に記載の平成24年度修理 重要文化財本多平八郎姿絵屏風、国宝源氏物語絵巻 四十三面の内八面の補助金は年度替わりの平成25年度に入金のため、この分については次年度に報告する。

〔15〕 「第4回徳川美術館拡充整備基金」

博物館法による「特定公益増進法人」の認定（平成21年2月9日付）を受け、平成21年2月9日より平成23年2月8日までの2年間、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を開始した。寄附金募集は平成22年度に終了したが、いただいた寄附金で下記2の通り、24年度の作品修理を行った。

1. 寄附金受付業務

寄附金額 平成22年度（平成22年4月1日～平成23年2月8日）
14,490,000 円 法人16件（37.1口）・個人188件（1,078口）

参考

平成20年度 (21.2.9～3.31)	平成21年度 (21.4.1～22.3.31)	平成22年度 (22.4.1～23.2.8)
法人1件 300,000 円	法人 19件 3,300,000円	法人 16件 3,710,000円
個人7件 180,000 円	個人305件 7,935,000円	個人 188件 10,780,000円
計 480,000 円	計 11,235,000円	計 14,490,000円
寄附金受領額計		26,205,000円

2. 寄附金の使途

〔文化財保存事業〕

中殿御会図	伝藤原為氏筆	一卷	修理	1,398,670円
士林派回	卷35・68・100	三冊	修理	352,784円

〔16〕活動支援基金

1. 寄附金受付業務

寄附金額 24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

8,190,000 円 法人 10 件（35.4口） 個人 67 件（465口）

参考

平成21年度 (21. 4. 1～22. 3. 31)	平成22年度 (22. 4. 1～23. 2. 28)	平成23年度 (23. 4. 1～24. 3. 31)	平成24年度 (24. 4. 1～25. 3. 31)
法人 19件 3,300,000円	法人 16件 3,710,000円	法人 27件 4,160,000円	法人 10件 3,540,000円
個人305件 7,935,000円	個人188件10,780,000円	個人258件 8,440,000円	個人 67件 4,650,000円
計 11,235,000円	計 14,490,000円	計 12,600,000円	計 8,190,000円

2. 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（法人は10口以上、個人は30口以上） 敬称略

法人会員 岡谷不動産(株) 岡谷鋼機(株) (株)万年堂
 個人会員 岡谷篤一 長澤順子

3. 寄附金の使途

平成24年度の寄附金の支出はないが、24年度より寄附金による修理事業として、下記の事業を継続実施している。

〔文化財保存事業〕

紅綸子地葵紋付帆掛舟に千鳥文鎧下着 一領
 雲龍・雪梅・風竹図 狩野山雪筆 三幅対

[公 2]

林政史の調査研究事業(徳川林政史研究所)

[1] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
①近世材木商の研究	所 長 竹内 誠	平成11年4月
②江戸の園地政策	副 所 長 深井 雅海	〃 18年4月
③近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員 白根 孝胤	〃 20年4月
④尾張藩幕末維新史の研究	非常勤研究員 藤田 英昭	〃 24年4月
⑤秋田藩林政と地域社会に関する研究	非常勤研究員 芳賀 和樹	〃 24年4月
⑥近代林業の展開	特任研究員・筑波大学教授 加藤 衛弘	〃 24年4月
⑦ 近世尾張藩領木曾山林業経営史の一齣 —信州王滝村・濃洲裏木曾三か村を中心に—	特任研究員 大崎 晃	〃 24年4月
⑧ 江戸の武家屋敷地に関する研究	非常勤研究員 渋谷葉子	〃 24年4月
⑨ 飛騨幕領における白木稼の展開	非常勤研究生 高橋伸拓	〃 24年4月

2. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)による研究

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会から科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

①特定奨励費

交 付 機 関 文部科学省
 研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業
 申 請 者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

②基盤研究 (A)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
 研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
 研究分担者名 白根孝胤 (研究員)

③基盤研究 (B)

交 付 機 関 独立行政法人日本学術振興会
 研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究
 研究分担者名 渋谷葉子 (非常勤研究員)

3. 史料調査

①自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業)	第1回	24. 5. 29～ 6. 1
〃	第2回	8. 21～ 8. 24
たつの市立龍野歴史文化資料館史料調査 (上廣倫理財団助成事業)	第1回	24. 8. 18～ 8. 19
〃	第2回	25. 3. 2～ 3. 4
秋田県横手市史編さん室所蔵史料調査 (上廣倫理財団助成事業)		2. 24～ 2. 27

②科学研究費補助金 (特定奨励費) 補助事業による史料調査

林政史アーカイブズ調査

秋田県公文書館所蔵史料調査	24. 6. 24～ 6. 27
長野県立歴史館所蔵史料調査	11. 16～11. 17
岐阜県歴史資料館・飛騨高山まちの博物館所蔵史料調査	25. 3. 12～ 3. 15

4. 研究会開催

① 24. 11. 12 於 徳川林政史研究所

「登城道筋之図」について

渋谷 葉子

飛騨幕領における白木稼の展開

高橋 伸拓

② 24. 11. 26 於 徳川林政史研究所

尾張家における御菓園・御菜園の利用形態

白根 孝胤

徳川農場における農事指導の実態と小作人

藤田 英昭

文化期秋田藩能代木山における林政改革の展開－林政機構の改革を中心に－

芳賀 和樹

[2] 若手研究者の育成

1. 研究会開催

① 第1回

24. 8. 3 於 豊島区勤労福祉会館 第5・6会議室

丹鶴版「幕府日記」について－奏者番の記録と「江戸幕府日記」－

吉成 香澄

江戸橋広小路と翁稲荷

横山 考之輔

江戸幕府奏者番の勤務形態に関する一考察

高田 綾子

幕末期における地域指導層と「強情」者

坂本 達彦

建白・訴訟運動としてのワッパ騒動－森藤右衛門の役割－

長沼 秀明

贈答文書にみる徳川家康の書状と御内書

川島 孝一

八雲開拓倉庫からのメッセージ

白根 孝胤

徳川農場－その成立と足跡－	藤田 英昭
徳川義親と森をつくった人びと	芳賀 和樹
八雲ブランド「熊彫」の誕生	根岸 美季

② 第2回

25. 3. 8	於 豊島区勤労福祉会館 第6会議室	
佐倉藩代官による飛地領支配の実態－武蔵国横見郡久保田村を事例に－		高木 謙一
武州熊谷宿本陣追放一件		栗原 健一
葵御紋附時服の着用制限にみる幕閣の統制姿勢		西 光三
幕府武家奉公人の任用に関する一考察－牢屋下男を事例に－		田原 昇
上野寛永寺の組織と輪王寺宮について		浦井 祥子

[3] 編集・刊行

1. 「研究紀要」第46号 寄贈・頒布業務

印刷部数 700部 内、寄贈・交換 529冊 頒布 46冊

2. 「研究紀要」第47号 編集・刊行

①尾張家における御薬園・御菜園の利用と実態	白根 孝胤
②近世木曾山林業の本伐仕出と商業資本	大崎 晃
③飛騨幕領における白木稼の展開	高橋 伸拓
④文化期秋田藩能代木山における林政改革の展開	芳賀 和樹
⑤廃藩置県後の官林伐木規制	成田 雅美
⑥「登城道筋之図」と尾張藩市谷屋敷	渋谷 葉子
⑦大正・昭和初期における徳川農場の理念と実践	藤田 英昭
⑧「明治五壬申年調 官林盛衰概略考」の解題と翻刻	加藤 衛弘・芳賀 和樹

[4] 史料の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- ① 尾張徳川家文書（尾5）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（平成24年度は291点整理・入力済み、見積総数802点のうち計595点完了）。
- ② 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した（平成24年度は619点整理、見積総数2,000点のうち計1,652点完了）。

- ③ 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（平成24年度は400点整理・入力済み、見積総数10,250点のうち計5,282点完了）。
 - ④ 尾張国地域別史料のうち、「尾張国春日井郡下飯田村文書」のデータ入力を行った（史料総数33点、すべて完了）。
 - ⑤ 日本林政史調査資料―仙台藩の細目を採録し、データ入力を行った（平成24年度作業開始、史料総数44点のうち22点完了）。
 - ⑥ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の目録確認作業を実施し、データ入力を行った（平成24年度作業開始、史料総点数3,842点のうち、1,278点完了）。
- ※ 見積総数：各史料群の点数は整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により新たに史料が確認されて点数が増加する見込であるため、整理中のものについては現時点で「見積総数」と表記している。

2. 研究用史料の写真撮影

研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- ① 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ 5,520コマ）
- ② 長野県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ 650コマ）
- ③ 飛騨高山まちの博物館所蔵史料（デジタルデータ 914コマ）
- ④ 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ 993コマ）
- ⑤ たつの市龍野歴史文化資料館所蔵史料（デジタルデータ 842コマ）

3. 所蔵史料のデジタルデータ化

研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料のデジタルデータ化を行った。

- ① ガラス板古写真のデジタルデータ化(6点8カット)
- ② 古文書のデジタルデータ化
 - ・外部委託によるデジタルデータ化(「戸山御庭之図」他絵図 カラー61カット)
 - ・デジタルマイクロリーダープリンター導入による自館でのデジタルデータ化(「御日記」「竹熊手」等4,128コマ)

[5] 所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録(九)を研究紀要第47号に収録刊行した。
2. 石河家文書目録(八)を研究紀要第47号に収録刊行した。
3. 日本林制史調査資料目録―仙台藩(一)を研究紀要第47号に収録刊行した。

[6] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座	徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催		
(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
① 林政史特別講座 秋田藩の森林(もり)づくり	24. 8. 30	芳賀 和樹	99名
② 田沼意次とその時代	9. 6	竹内 誠	92名
③ 田沼意次の出世	9. 13	深井 雅海	97名
④ 風聞書にみる御三卿清水家の内情	9. 20	藤田 英昭	103名
⑤ 田沼意知刺殺事件の真相	9. 27	白根 孝胤	88名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
① 徳川家康の遺訓	24. 6. 9	竹内 誠
② 二代将軍秀忠の人物像	6. 16	藤田 英昭
③ 森林から見た17世紀	6. 23	芳賀 和樹
④ 『寛永小説』に見る三代将軍家光	6. 30	深井 雅海
⑤ 徳川御三家の創出と将軍家 (1)	7. 7	白根 孝胤
⑥ " (2)	7. 14	"

3. 徳川林政史研究所公開講座「徳川義親 八雲への想いー山と緑に囲まれた理想郷をめざしてー」

徳川林政史研究所・八雲産業株式会社共催

24. 10. 20 於 はびあ八雲 コミセン・ホール(北海道八雲町)

参加者170名

① 八雲開拓倉庫からのメッセージ	白根 孝胤
② 徳川農場 その成立と足跡	藤田 英昭
③ 森をつくるー徳川義親と八雲の人びとー	芳賀 和樹
④ 八雲ブランド「熊彫」の誕生 ー徳川義親と八雲住民とのかかわりー	根岸 美季
⑤ パネル・ディスカッション	司会 白根 孝胤

4. 公開講座の成果刊行

平成21年度に実施した第11回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読むー家康・秀忠・家光ー』（東京堂出版）を刊行した。

5. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
紀伊国屋文左衛門の実像	江戸東京博物館友の会総会記念	24. 5. 26	竹内 誠
博物館のリスクマネジメント	歴史民俗系博物館連絡協議会設立記念	6. 14	〃
浅草寺ー山の歴史ー	浅草寺夏期集中研修会	8. 7 8. 8	〃
江戸の教育力	山梨県私立中学高等学校連合会	8. 22	〃
外国人が見た徳川日本	クラブ関西(大阪市)	10. 11	〃
隅田川再生 ー歴史からの視点ー	東京芸術大学GTSシンポジウム基調講演	10. 31	〃
伝統文化と国際理解教育	東京都教育庁	11. 11	〃
江戸の心を語る	東京都中央卸売市場厚生協会	11. 20	〃
江戸文化は暮らしの文化	東京都次世代育成研修会	12. 2	〃
それぞれの明治維新	東京史游会	12. 17	〃
江戸の下町と町名	東京都中央区区会議員研修会	12. 21	〃
江戸の工芸 ーその技と心ー	長野県立歴史館	25. 1. 19	〃
江戸の心に学ぶ	日本芸術文化振興会職員特別研修	1. 29	〃
博物館経営の実際	文部科学省国立教育政策研究所	2. 5	〃
将軍家斉の官位昇進儀礼	神奈川県土曜古文書会	24. 9. 29	深井雅海
江戸城御庭番	江戸東京博物館秋期えどはくカルチャー	11. 16	〃
大名の江戸城登城と儀礼	江戸城ファミリーウォーク	11. 23	〃
江戸城本丸御殿の構造と生活	千代田区立日比谷図書文化館	25. 2. 24	〃
尾張の殿様と付家老	愛知県愛西市教育委員会	2. 16	白根孝胤
大名奥女中が見た幕末京都	鎌倉生涯学習センター・きらら鎌倉講座	24. 7. 15	藤田英昭
近世・近代の里山と 人々の暮らし	パルテノン多摩古文書講座	9. 7 ほか	〃
徳川将軍と江戸城	江戸楽セミナー	10. 7	〃
長州戦争期の大阪在勤日記を 読む	千葉県文書館古文書講座	10. 30 ほか	〃
幕末会津藩をめぐる群像	福生市公民館松林分館歴史講座	11. 11 ほか	〃
山本八重をめぐる人間模様	浦安歴史の会	25. 3. 13	〃
秋田藩の林政改革	首都圏秋田歴史と文化の会	24. 10. 6	芳賀和樹
古文書から見た阿仁部の歴史 ー山の恵みを中心にー	秋田県北秋田市	25. 2. 12	〃

6. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、下記の調査・見学に協力した。

- ① 学習院大学「博物館実習」クラス（学芸員資格取得課程）の学外授業として、担当教師の付き添いのもと学生10名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。 24. 7. 5
- ② 林野庁森林技術総合研修所養成研修専攻科の研修として、引率教官2名・研修生17名が来所。林政史研究所の概要及び江戸時代の林政史について説明を行った。 25. 3. 21

7. 案内パンフレットの作成

- ① 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成24年度版を作成した。

8. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

9. 部外出講

- ① 聖心女子大学 日本文化史Ⅱ 後期 白根 孝胤

[7] 徳川美術館との連携

1. 展覧会への史料出陳

展覧会名称	会 期	出陳史料名
「豪商のたしなみー岡谷コレクションー」展	24. 4. 14 ~ 5. 27	「名古屋分限見立角力」（「竹熊手」第1冊）
「尾張徳川家大曾根邸と徳川園」展	24. 6. 2 ~ 7. 22	「侯爵徳川義礼・侯爵夫人徳川良子写真」等18件
「徳川将軍の御成」展	24. 10. 6 ~ 11. 11	「御成御用ニ関スル留帳」等19件
「大名と鷹狩ー富士・二鷹・三茄子ー」展	25. 1. 4 ~ 2. 11	「鷹出所帳」等26件

2. 研究協力

徳川慶勝撮影の古写真に関する共同研究をはじめ、徳川美術館学芸員と密接に連絡をとり合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

[10] 補助金関係

平成24年度に交付された以下の科学研究費助成事業(科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金)について 申請・報告事務と経費管理事務を行った。

※「科学研究費補助金事業」は、制度改革により「科学研究費助成事業」となり、(科学研究費補助金)と(学術研究助成基金助成金)に区分されているため、その区分に合わせた表記とした。

1. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

①特定奨励費 申請者 (公財)徳川黎明会徳川林政史研究所
研究事業名 日本林政史の調査・研究・普及活動に関する事業
交付機関 文部科学省

②基盤研究(A) 研究分担者 白根孝胤
研究課題名 法令・人事から見た近世政策決定システムの研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

③基盤研究(B) 研究分担者 渋谷葉子
研究課題名 江戸武家地の空間変容に関する文理統合的研究
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

2. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

①若手研究(B) 研究代表者 志賀太郎 (公財) 徳川黎明会徳川美術館
研究課題名 中世前期の日本により蒐集された南宋禅宗墨蹟の姿と機能
交付決定日 平成24年6月29日
交付機関 独立行政法人日本学術振興会

※本研究課題は、平成24年度新規採択され、科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)の交付を受けたが、研究代表者死亡につき平成25年1月交付決定の一部取消及び助成金の返還を行った。

[11] 事業評価委員会

平成25年3月18日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成24年度事業について評価・講評を受けた。

[12] 徳川記念財団への協力

本研究所では受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料 約5130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された徳川記念財団が調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成24年度は徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧3件について協力した。

史料名（徳川記念財団所蔵）	期間	目的
「仏全権公使レオン・ロッシュ極秘書状」等 40件103点	24. 8. 7 ～ 12. 19	展示及び 閲覧対応
「文章達徳綱領6巻」等 4件41点	8. 20 ～ 25. 2. 20	閲覧対応
「徳川茂栄・慶頼上書」等 62件216点	25. 2. 20 ～継続中	展示及び 閲覧対応

[13] 設備管理

建物付属設備の営繕工事を以下のように行った。

- ① 本部建物外壁洗浄及び玄関扉・正門扉・西門扉塗装
- ② 〃 自動火災警報システム接続
- ③ 〃 屋上防水補修

[14] 資産の取得

下記の資産を取得した。

1. 建物附属設備

- ①本部建物空調設備・給湯設備リース
- ② 〃 収蔵庫(1)(2)内空調機ダクト断熱工事
- ③ 〃 消防設備工事
- ④ 〃 給水管更新工事
- ⑤ 〃 避難器具設置工事
- ⑥ 〃 小荷物専用昇降機改修工事

2. 図書

購入及寄贈図書のうち380冊を図書資産として取得した

Ⅲ. 収益事業

[収 1]

不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 外国人向け住宅6棟中4棟の賃貸を行った。
2. 平成24年度は固定資産の取得はなかった。

[収 2]

ミュージアムショップの運営事業等(徳川美術館)

1. ミュージアムショップの運営充実
 - (1) 各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを工夫・改善した。
 - (2) ホームページに商品掲載をリニューアルし、ミュージアムグッズの販促を行った。
 - (3) 新商品の開発を行った。（ミニクリアファイル、マーキングクリップ、ゴルフマーカー、ダイカットファイル）
 - (4) おみやげに適切なせんべい、味噌等食品の取扱いも開始した。
 - (5) 巡回展など、外販を積極的に展開した。（江戸博、水墨美術館、サンリツ服部美術館）
 - (6) 商品売上分析による戦略的販売計画を策定した。

事業報告の附属明細書

平成24年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 徳川黎明会